

さっぽろ

雪の絵本

みんなの声でつづる、雪対策ストーリー

発行:札幌市建設局土木部
雪対策室計画課



さっぽろ市
01-K02-14-2091
26-1-132

うちの町内会の除雪、
もっとなんとかならないの？

どうしてこっこの歩道は
除雪してないの？ 12ページ

少しくらいなら
路上駐車しても
大丈夫よね 14ページ

どうしてすべての道路を
排雪してくれないの？ 13ページ

つるつるで
危ないな
ロードヒーティングが
あればいいのに 28ページ

どうして家の前に
雪を置いていくの？ 07ページ

はじめに
雪国で暮らすみなさんにとって、
除雪はやはり大きな関心事。
雪の降る季節になると、札幌市
には「玄関前の雪を何とかして
欲しい」「雪山をなくして欲しい」
と、実に様々な声が寄せられます。

もちろん、市民みなさんの声に、
できる限りお応えしたいと考えて
いますが、市役所だけがすべてを
担うことはできません。みなさん
の声にお応えできないこともある
のです。こうしたとき、どうして
できないのか、どこまでが市の
役割なのか、しっかり理解して
いただくことが大切です。もし、
分からないまま、納得できない
ままだとしたら、みなさんにとっ
ても、市にとっても、除雪作業を
担う事業者にとっても、残念なこ
ととは思いませんか。

この絵本は、ある町内会の物語。
よく寄せられる要望や質問につ
いて、登場人物たちがみなさんに
代わって話し合います。さあ、町
内会の声を聞きながら、雪対策
について、みなさんも一緒に考え
てみませんか。

雪堆積場・雪処理施設

- あの雪とこいくの？ 19
- 雪堆積場がないとどうなるの？ 19
- 雪堆積場、足りないんじゃないかな？ 21
- 雪の置場がないなら、溶かしちゃえば？ 23
- どうすればうちの町内会にも流雪機をつけられるの？ 24
- 結局、どの雪処理施設が、村長有望なのかしら？ 25

排雪

- 雪を運ぶのも除雪でしょ？ 13
- 除雪の回数を減らして、排雪を増やしたらどうか？ 15
- 家の前の道路は、排雪してもらえないのかな？ 17
- 排雪支援制度って、もっと増やせないの？ 18

除雪

- どうして家の前に雪を置いていくの？ 07
- 除雪作業の判断は、誰がしているの？ 08
- 朝、除雪されていない日もあるよね？ 09
- 除雪の方法っていろいろあるの？ 11
- 向い側の歩道は除雪するの？、どうしてこぼさないの？ 12

「除雪」と「排雪」、「幹線道路」と「生活道路」について 05

これからの雪対策について、
私たちと一緒に考えてみませんか？



パパ
のんびり屋だけど、意外しつかり者。



ママ
テキパキ活動的だけど、うっかり屋。



ユキオくん
冬でも元気いっぱいです。



フミちゃん
好奇心旺盛で、勉強熱心。



町内会長
知識が豊富で、親切です。



おばあちゃん
昔のことを教えてください。



大工のおじさん
威勢も気前もいい人気者。



お惣菜屋のおばさん
明るくて、おしゃべり好き。

市と事業者、そして市民みなさんとの協働。それが、さっぼろの冬を豊かにする、大きなヒントです。



ダンプトラックの運転手
知恵も力も頼りになります。



除雪作業員
除雪機に使える仕事人。



市の職員
まじめで、気さくな人柄です。

これからの雪対策

- 雪対策の課題はいろいろあるけれど、なんとかできないかな？ 36
- 雪対策って、私たちの地域でも何かできないの？ 37
- 雪かきができない人は、どうしたらいいのかしら？ 39
- 地域で助け合う雪対策って、どんなことをすればいいのかな？ 40
- 冬道を快適に使うために、普段気をつけることは？ 41
- 雪困らしい暮らし方を、もう少し考えてみたらどうだろうね？ 42

雪対策の歴史

- 除雪って、昔はどうしていたの？ 31
- いつから、今みたいな除雪になったの？ 33

凍結路面対策

- つるつる路面、なんとかならないのかな？ 27
- 車道のロードヒーティング、もっと増やせないのかな？ 28
- 歩道のつるつる路面対策は、どうなっているの？ 29
- つるつる路面を解消するために、私たちにできることは？ 30

この本で紹介した施策に関するお問い合わせ 45

どうして家の前に雪を置いていくの？



除雪作業の判断は、誰がしているの？



疑問や相談に応じて働ける仕組み

区を細分化したマルチゾーンごとに除雪作業を決めています。

雪は、地域によって降り方が異なるもの。以前は、区ごとに除雪作業の判断を行っていましたが、より地域の状況に合った作業を行うために、一つの区をさらに細かく分けたマルチゾーンごとに除雪センターを設け、毎日の除雪作業を決定しています。



朝までにみんなが道路を使えるようにするには、雪をかき分けるだけで精一杯なんだ。札幌市全域に雪が降れば、市内一斉に除雪を行うこととなります。その距離約5,400km。新雪の除雪は、通常深夜から通勤・通学時間までの作業ですが、限られた時間と限られた除雪機械ですべての道路を機能させるには、みなさんと市の役割分担が必要なのです。



私たちの雪かきには、これだけの力が必要なんです

除雪の発注・管理は、土木センターで行っています。

土木センターの職員は、除雪作業の管理や監督を行っています。また、排雪する道路や時期など、各除雪センターに作業の方針を指示しています。

各地域の細かな除雪作業については除雪センターにご相談を。

除雪センターでは、市の委託を受けた除雪事業者のスタッフが、24時間体制で冬の道路を守っています。また、みなさんからのお問い合わせの窓口にもなっています。

ケーススタディ これが札幌流! マルチゾーンシステム



*各マルチゾーンの除雪センターについては46ページをご覧ください。

朝、除雪されていない日もあるよねっ？



朝方のドカ雪は、除雪が間に合わないんだ。

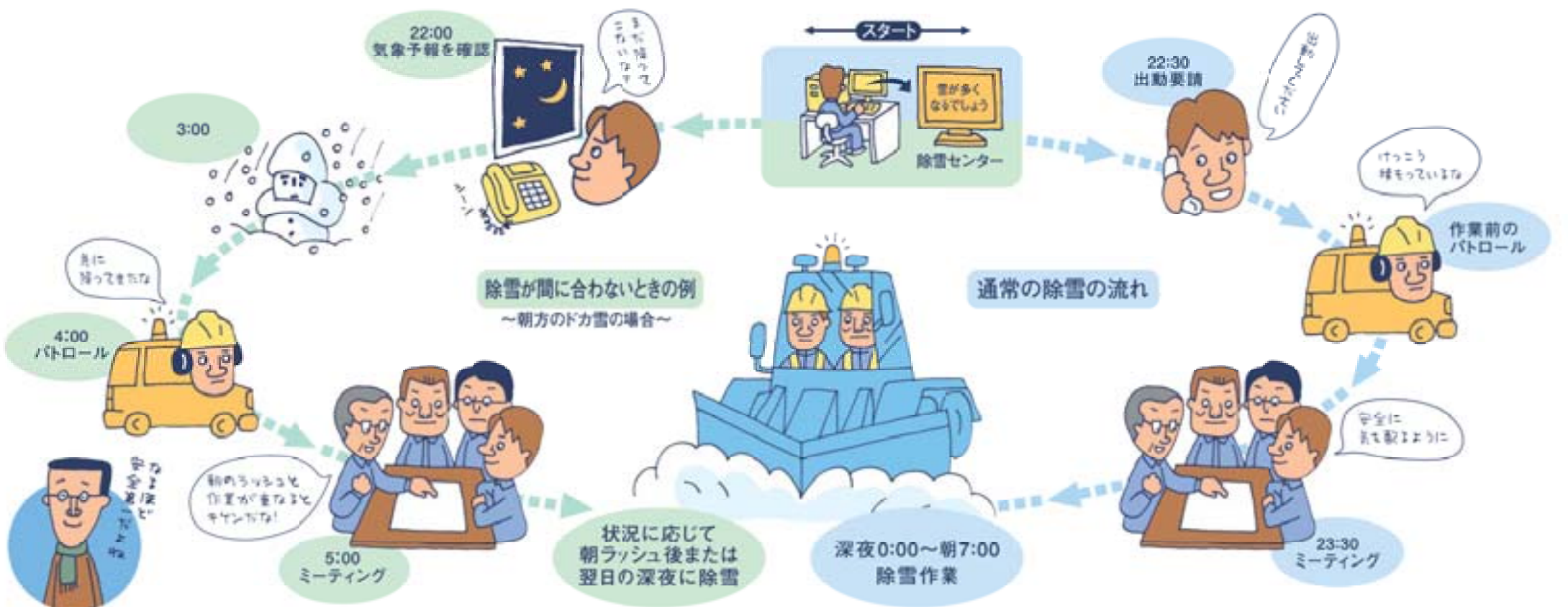
除雪車は、目安として雪が10cm以上降ったときに出勤することになっていて、通常は交通量の少ない深夜から通勤・通学時間までの間に除雪をしています。しかし、明け方から急に雪が降り出した場合などは、除雪が間に合わないことや、通勤・通学の時間帯に重なり、交通混雑や事故が心配されるときは、除雪を見合わせることにしています。

除雪する？ しない？ 判断基準のポイント

- 雪が降っていて、すでに雪の深さが10cmを超えている。
 除雪する 除雪しない
- 交通量が多くて、圧雪が交通障害になりそう。
 除雪する 除雪しない
- 雪の深さが10cmを超えているけど、すっかり踏み固まっている。
 除雪する 除雪しない
- 風雪や地吹雪で、吹きだまりができそう。
 除雪する 除雪しない
- 雪が10cm以上降っていても、春先などで気温が上がってすぐに解けそう。
 除雪する 除雪しない



ケーススタディ 除雪作業員のお仕事をレポート!



除雪の方法って
いろいろあるの？



ワダチがひどいときは、路面を平らに削るんだ。

雪が平らに踏み固まっていて車が走りやすい道路も、車の往来や気温の変化で解けたり凍ったりを繰り返すうちに、凸凹やワダチが発

いろいろあります！
生活道路の
除雪の種類

路面整正
道路の凸凹やワダチを削る

拡幅除雪
狭くなった道路を広げる

雪で狭くなった道路を広げるのも僕たちの仕事さ。

冬の間、何度も雪が降り、除雪を繰り返すことで、道路脇の雪山はどんどん大きくなり、道幅は狭くなっていきます。こうしたときには、大きくなった雪山の裾をロータリー除雪車でかき取って雪山の上に積み上げる「拡幅除雪」を行っています。

道路の状況に応じて、**計**画的に進めていきます。

「路面整正」や「拡幅除雪」は、雪が降ったときの除雪と違って、道路の状態をパトロールして、特に作業の必要な道路から順番に行っていきます。

向こうの歩道は除雪するのに
どうしていいの？



人通りの多い歩道を
重点的に除雪しているんだ。

歩道用の除雪車が、作業を行うのに必要な幅を考えると、除雪を行えるのは2m以上の歩道に限られます。また、公共施設や地下鉄駅、JR駅の周辺、バス路線など、人通りが多い歩道を中心に実施しています。



こんな歩道を除雪しています！
除雪を行う歩道の基準

- 歩道の幅が2m以上で電柱などの支障物がない。
- 地下鉄駅や公共施設周辺など、歩行者が多い。
- 歩道を除雪した雪を積んでおくだけの道幅がある。

作業前

作業後

歩道の除雪も
深夜に行っているんだよ。

車道の除雪と同じように、目安として10cm以上雪が降ったときに出勤するのが原則で、歩行者の少ない夜間を中心に作業を行っています。



歩道除雪
深夜の作業の様子



排雪(運搬排雪)

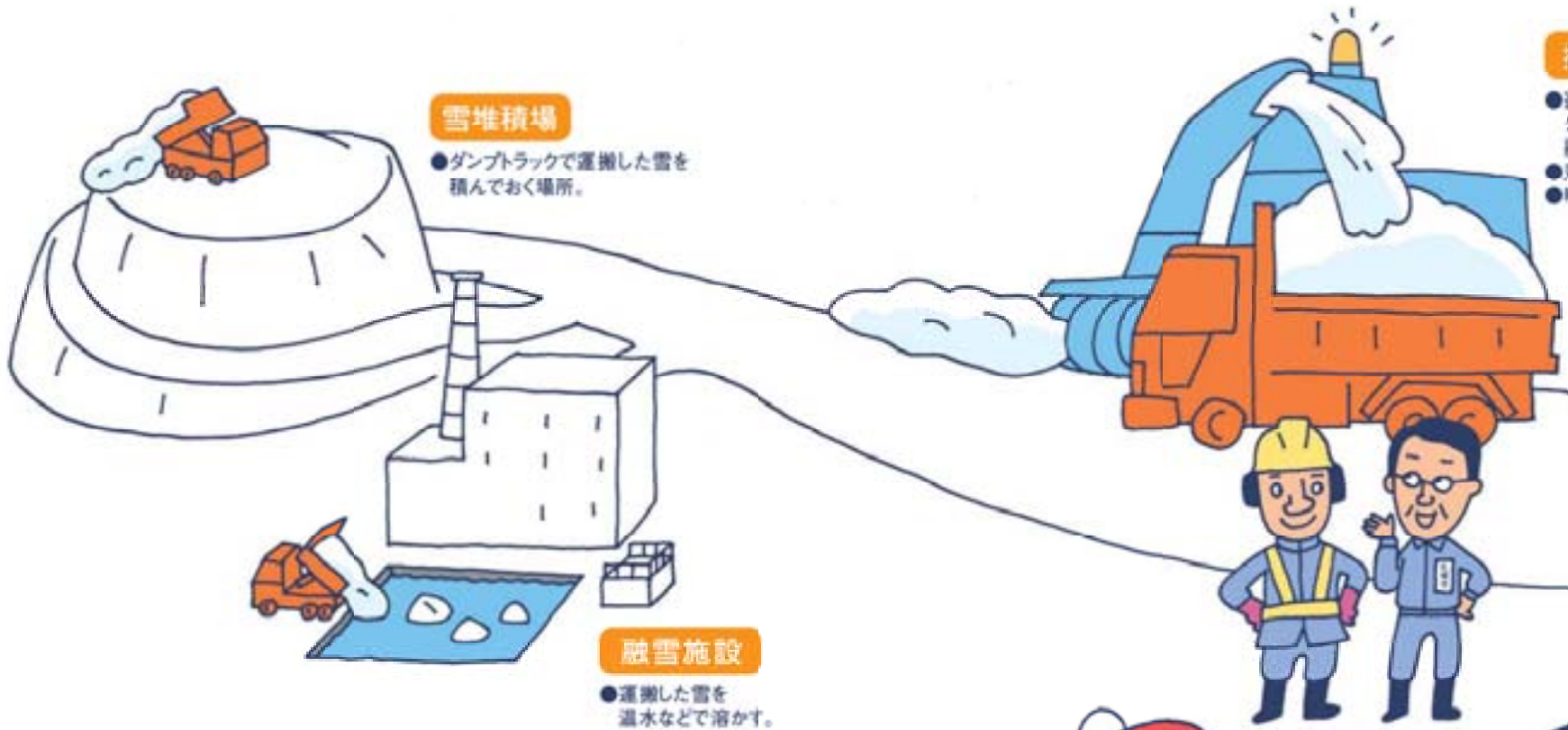
- 道路の脇に積み上げた雪を、ダンプトラックで雪堆積場や融雪施設(融雪槽)などへ運搬。
- 見通しが改善、車の流れがスムーズに。
- 幹線道路や一部の通学路で実施。

雪堆積場

●ダンプトラックで運搬した雪を積んでおく場所。

融雪施設

●運搬した雪を温水などで溶かす。



雪を運ぶのも除雪でしょ?

年に1回ずつの降雪でも、スケジュールはいっぱい! ひと冬の排雪カレンダー

対象	市で実施する排雪	排雪支援制度*
1月	幹線道路と一部の通学路 ●通学路 ●幹線道路	地域から申請のあった生活道路
2月		生活道路
排雪する道路	約1,600km	約2,800m

* (1) 排雪パートナーシップ制度(2) 市民協賛トラック制度は、17ページをご覧ください。

排雪とは、道路の脇に積み上げた雪をダンプトラックに積んで、雪堆積場や融雪施設(融雪槽)へ運ぶ作業のこと。除雪は幹線道路から生活道路まで行っていますが、排雪は原則として幹線道路と一部の通学路のみ。生活道路については、町内会などの地域ごとに排雪支援制度を利用していただいています。

雪を運ぶのは、排雪っていうんだ。



除雪の回数を減らして、排雪を増やしたらどうかかな？

排雪は、とっても大変なんだよ。

排雪作業は、使う機械の種類も、作業員の人数も、除雪よりだんぜん多くなります。また、一組当たりの作



運搬に必要なダンプトラックも足りないんだ。

雪の運搬に欠かせないのが、ダンプトラック。札幌近郊のダンプ台数は減少傾向にありましたが、近年は、増加傾向にあります（36ページ・ケーススタディ参照）。しかし、排雪に必要なダンプの台数は、まだ、足りない状況にあります。そもそも、ダンプは排雪専用ではありません。道路や建物などの工事現場で、活用されています。公共工事の増加などもあり、排雪に使用するダンプを集めにくい状況にあるのです。

ケーススタディ 生活道路の場合

除雪と排雪はこんなに違う！作業一組当たりの人手と機械

排雪*	除雪
ロータリー1台 2人	タイヤショベル1台 2人
グレーダー1台 2人	
タイヤショベル1台 2人	
バックホウ1台 1人	
ダンプトラック15台 15人	
誘導員6人以上	
19台28人以上 1日 約2km	1台2人 ひと晩 約10km

*除雪/パートナーシップ制度の場合



排雪の費用は、除雪の80倍もかかっているのです。

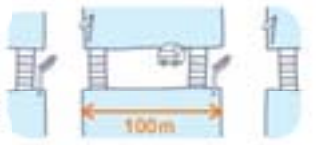
幹線道路約1000mを1回除雪するお金約3千円なのに対し、排雪は約24万円もかかります。また、道路を除排雪する予算のうち、半分以上が排雪に関係する費用に充てられています。

どこもかしこも排雪するのは難しいね。

排雪を行うことで道幅が広がり、車の流れもよくなります。さらに道路の見通しもよくなり、雪かきも楽になるなど、冬の生活が快適になります。しかし、現実には「たくさんの人手と機械が必要」「ダンプが集めにくくなってきている」「多くの費用がかかる」などの問題があり、今以上に排雪を増やすことは難しくなっています。

こんなにかかるの？ 排雪の費用

1回当たりの排雪費は除雪費の約80倍



除雪(新雪除雪)	1回	約3,000円
排雪	1回	約240,000円

*片側3車線の道路を100m除雪・排雪したときの費用

札幌市の雪対策予算

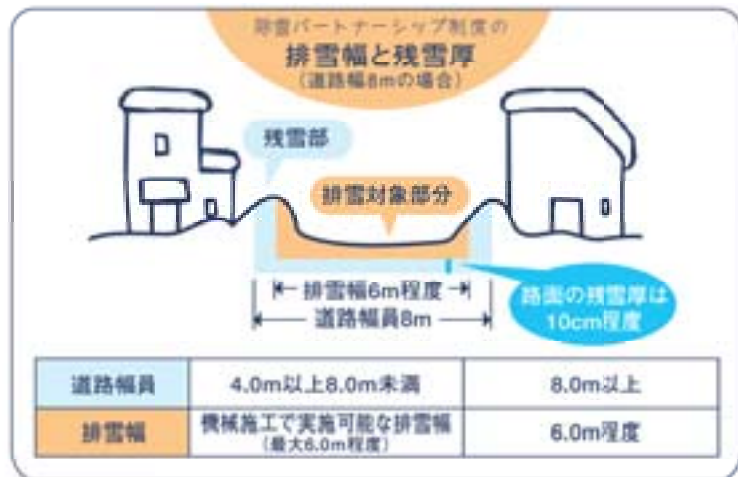


家の前の道路は、
排雪してもらえないのかな？



「除雪パートナーシップ制度」を利用できます。

地域単位で生活道路の排雪を行えるように、市では「除雪パートナーシップ制度」を設けています。地域と市の双方が費用を出し合い、除雪事業者を含めた三者が協力しながら実施します。なお、ご利用はひと冬に1回となっています。



地域で雪を積み込む
「市民助成トラック制度」も
あります。

「市民助成トラック制度」は、市がダンプの貸し出しと運転手の派遣を無料で行い、地域のみなさんが雪の積み込み作業や安全管理などを行って、地域内の生活道路の排雪を行う制度です。この制度もご利用はひと冬に1回とさせていただきます。



排雪支援制度って、
もっと増やせないの？



制度を続けるためにも、
ルールを守ってくださいね。
もし、排雪の日に、ご家庭の屋根や庭、駐車場の雪を出してしまうと、排雪量は増えるばかり。ダンプや除雪機械、作業員の数からいっても、庭などの雪まで排雪することはできません。制度を継続していくためにも、ご協力をお願いします。

制度の意味をもう一度
考えていただけませんか？

道路の除雪や排雪は、通勤や通学、物流などを支え、冬の都市機能を確保するために行っているものですが、予算や機械などに制約があるため、市では交通量の多い幹線道路などでのみ排雪を行っています。とはいえ、自宅前の道路を排雪し、冬を快適に暮らしたいと願うみなさんからの要望も多いことから、排雪支援制度を設けているのです。幹線道路の排雪は都市の活動を支えるために不可欠ですが、生活道路の排雪は、冬の豊かな暮らしを支援するものなのです。

守ってください/
注意事項とお願い


雪出しはやめましょう




- 排雪支援制度の利用はひと冬を通じて1回となっています。また、同制度の重複利用はできません。
- 路上駐車やゴミ収集場所の整理などは、地域でお願いします。
- この制度は、道路の雪の排雪を行うもので、個人や企業が処理すべき宅地内・屋根・駐車場などから出される雪は対象となりません。
- みなさんの排雪時期の希望は一時期に集中するため、市が日程を調整しています。

除雪機械、作業員の数からいっても、庭などの雪まで排雪することはできません。制度を継続していくためにも、ご協力をお願いします。

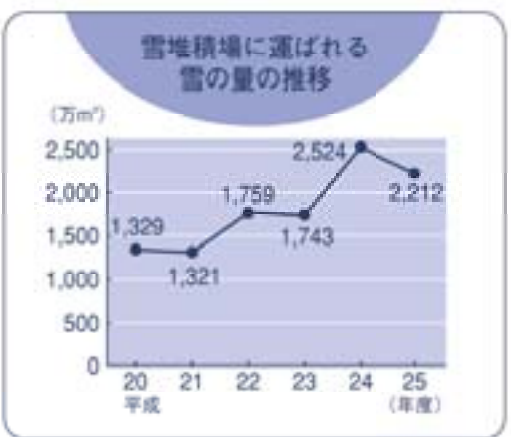
札幌ドーム約12杯分の雪を、雪堆積場で処理しています。雪堆積場は、運んできた雪を堆積しておく施設で、70カ所以上配置されています。そのうち、約半数は一般の方も運び込むことができます。近年は自宅前の道路や店舗などの駐車場の雪を排雪される市民の方が多くなり、また、市の排雪の対象となる道路も増えてい

ケーススタディ  雪堆積場に運ばれる雪はどれくらい？

札幌ドーム×12杯程度 ※ひとき



＝約1,800万m³ ×12



札幌ドーム約12杯分の雪を、雪堆積場で処理しています。

そのため、気象状況にもよりますが、運ばれてくる雪は増加する傾向にあります。



大事な場所よ。定期的な排雪する契約を民間事業者と結ぶ市民の方が増えていますが、これらの雪も市の雪堆積場で受け入れているのです。



雪堆積場の確保が、難しくなっているんです。

市街地の開発・拡大が進むにつれ、雪堆積場の確保が年々難しくなっており、平成16年度から平成25年度までの10年間で6箇所減少しています。また、雪堆積場を運営するには多くの経費がかかります、その額も増加する傾向にあります。排雪に対する要望は今後も高まっていくことが予想されますが、要望にあう雪堆積場を増やし続けることは難しくなっています。



雪堆積場の様子

雪堆積場、足りないんじゃないかな？

とまどい雪を運ぶけれど、込んでいってるよ



雪堆積場は、どこにでもつくれるわけじゃないしね。

雪堆積場を開設するには、広い土地が必要なのはもちろん、河川のそばなど、雪が解けたときの水の処理がきちんとできる場所を確保することが必要です。また、ダンプによる騒音への配慮など、周辺住民のみなさんになるべくご迷惑をかけない場所であることも大切。ですから、どうしても郊外の雪堆積場が多くなっているのです。

雪堆積場の実態をリポート！



近くの雪堆積場がなくなると、雪を運ぶのが大変になるなあ。

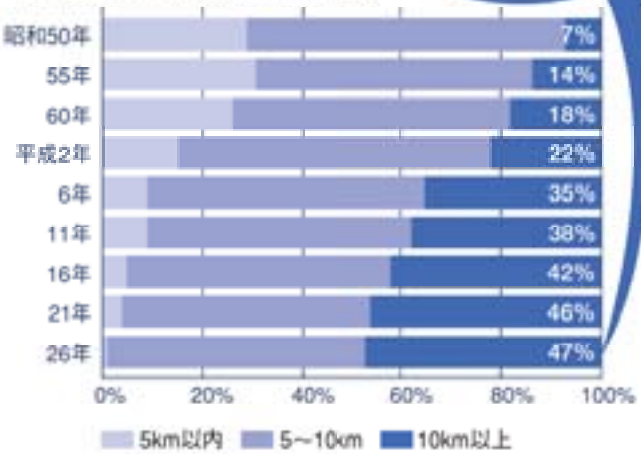
排雪を行う道路は主に市街地が多いのですが、一方で、雪堆積場は郊外の割合が多くなってきているため、運搬する距離は年々長くなってきています。運転時間が長くなれば、作業の効率が悪くなるほか、道路混雑を招いたり、排気ガスの発生が増えるなど、環境に対する影響も懸念されます。

こんなにあります！ 札幌市の雪堆積場 (平成26年度)



郊外の雪堆積場が増え、運搬にかかるコストも増加

雪堆積場の遠隔化 ~札幌駅からの距離別箇所の割合の推移~



各施設のポイントはこちら / 雪処理施設まとめ

排雪するには、作業員や機械・ダンプのほか、運んだ雪を処理する施設が必要です。札幌市の雪処理施設には、雪堆積場、融雪施設、流雪溝などがありますが、いずれもいくらでも増やせるわけではありません。

雪堆積場



融雪施設



流雪溝



メリット

●融雪施設や流雪溝と比べて低コストで設置できる。

●雪堆積場ほど広い場所を必要としないため、市街地でも設置できる。
●市街地に設置することで、雪堆積場に比べ、運搬距離を大幅に短縮できる。

●沿道の方々が道路の雪を適時に流すことで、常に広い道幅を保つことができる。
●ダンプで雪を運ばずに、処理できる。

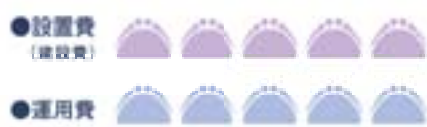
デメリット

●広い土地が必要なため、郊外に設置することが多い。
●雪の運搬距離が長くなり、コストがかかる。環境への影響も懸念される。

●未利用エネルギーの活用が原則だが、利用できるエネルギーは限られている。
●建設コストが高い。

●雪を流すための水源が必要だが、利用できる水源が限られている。
●建設コストが高い。

コストのイメージ



これからのこと

●これからも雪処理施設の主役である。
●雪堆積場に適した土地は少なくなってきている。

●新たな整備は、地域の雪を処理する程度の比較的小規模な施設が中心となる。

●適時に雪を流し、十分な効果が得られるように、沿道の方々の協力体制を整えることが必要。



施設の特徴に応じて、有効に活用していきます。

処理施設も、これから増やすことは、あまり望みません。それよりも、それぞれのメリット・デメリットをきちんと理解したうえで、今ある雪処理施設を今後も最大限活用していきます。

結局、どの雪処理施設が、将来有望なのかしら？

なるほど...



このように増やせること、排雪コストを削減する努力をしなければならぬ!!



歩道のつるつる路面対策は、
どうなっているの？

**人通りの多い歩道を
中心に、滑り止め材を
散布しているんだ。**

冬の歩道を歩いていると、不便や危険を感じることがありますよね。このため、歩行者の多い公共施設やJR駅、地下鉄駅周辺などの歩道を対象に、滑り止め材を散布しています。散布は主に人の手で行っていますが、一部では機械でも散布しています。



滑り止め材散布車(歩道用)

ケーススタディ **お年寄りの転倒事故が増えています**

冬場で転倒し、救急搬送される方が年間1,000人以上に達する年も!

歩行者の転倒による救急搬送数と60歳以上の割合の推移



つるつる路面を解消するために、
私たちにできることは？



私たちが、
つるつる路面を
解消するために
できることは？

**みなさんも、
砂まきをお願いします。**

市では、安全に横断歩道や歩道を歩けるように、凍結防止剤や滑り止め材を散布しています。でも、天候によつては、散布が間に合わないこともあります。そんなときは「砂箱」の滑り止め材を活用してください。「砂箱」は人通りの多い交差点などに設置していますので、「滑って危ない」と思った場所には、後から通行する人のためにも積極的にまいてください。ご協力をお願いします。

砂まきにご協力を！
滑り止め材あれこれ



1.5kg入り砂袋

歩行者用の砂箱に配置。市民の声をヒントに開発され、鋭角の切り口から散布に適量の砂が出るよう工夫。



3kg入り砂袋

主に車道用の砂箱に配置。内容量が多く、重量があるため、広い面積に集中的に散布するのに適しています。



0.7~0.8kg入り携帯用ボトル

区役所などの公共施設に配置。内容量が多く、重量があるため、広い面積に集中的に散布するのに適しています。

みんなで快適な冬を過ごすために
凍結路面対策の役割分担



**砂まきを広めるため、
企業にもご協力いただいています。**

市では、砂まきの普及のため、企業に砂箱を寄贈していただけるよう呼びかけています。募集を開始した平成17年度から、これまでに、約150個の砂箱が寄贈されました。



寄贈いただいた企業名入りの砂箱

凍結にやけどしい対策です！
氷に傷をつける滑り止め



歩道の水面に傷をつけて滑りにくくする、歩道除雪車も開発され、一部の地域で使用されています。



でも氷をつけて
滑かたくなさ

あかまね



を道は
怖くて



携帯用砂箱は
携帯に便利

私にも
できそう

昔は、機械なんてなかったのよ。
 明治の初めころは、除雪といっても人力と馬そり。雪に埋もれた冬の間は、経済活動が停滞するため、寝て暮らす生活を余儀なくされていたようです。



明治初期の馬そり

除雪って、昔はどうしていたの？



昔はね、家も道路も、みんな自分たちで除雪したのよ。

初めて除雪機械を見たときは、驚いたわねえ。

終戦を迎え、米軍が進駐してから除雪体制は一変しました。米軍から貸し出されたブルドーザーなどの除雪機械が、車道の雪を豪快にかき分けていくさまに、当時の人々は目を見張りました。

いつから？どんな機械？
 札幌に除雪機械が登場

1946年 (昭和21年) **機械除雪がはじまる。**
 アメリカ軍から除雪機械を借りて、初めて機械による除雪を行いました。



当時のブルドーザー

1953年 (昭和28年) **初めての排雪が行われる。**
 電車通りの両側に積まれた雪を人力でトラックに積み込み排雪を行いました。



人力で雪を積みこむ様子

1958年 (昭和33年) **ロータリー除雪車による排雪がはじまる。**
 積み込み作業が人力から機械へと変わりました。



初めてのロータリー除雪車

1961年 (昭和36年) **市民による雪割り運動が展開される。**
 市民参加型の雪割り旬間が展開。その後、市民が自発的に行うようになりました。機械除雪がまだ発展途上だった時代、頼りになるのは、やはり市民の協力でした。



市民による雪割り運動



除雪って進化してるね

機械なしでどうやって除雪？
 明治時代の人々の知恵

1876年 (明治9年) **屯田兵村に「除雪当番心得」が定められる。**
 筒り積もった雪を踏み固めることで道をつけていました。「除雪当番心得」で雪踏みがルール化され、屯田兵は約90cmの道幅で雪を踏み固めよう決められました。



1886年 (明治19年) **ロシアから馬そりが輸入され、除雪に使われる。**
 馬そりを三角そりに改良し、一部の除雪に馬の力が利用されるようになりました。



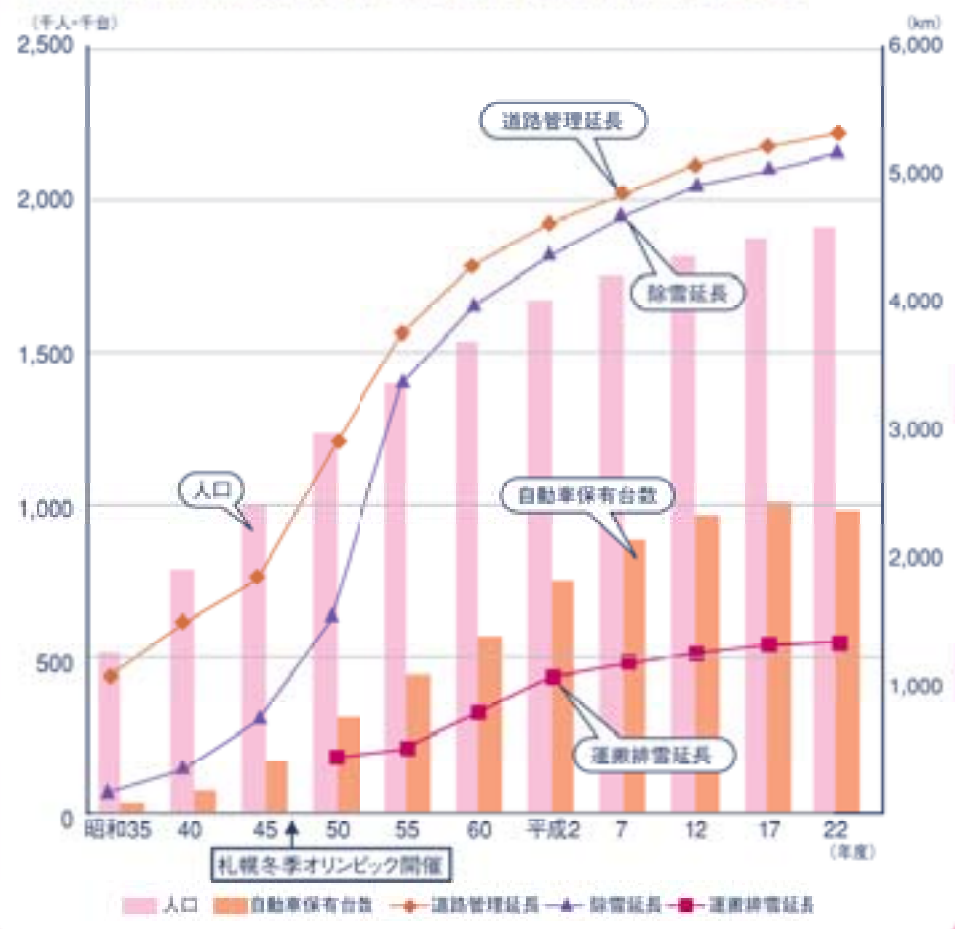
1888年 (明治21年) **「踏雪取締まりと撤出方規則」が定められる。**
 役場から人々に雪踏み除雪を呼びかけるとともに、住民は道路の雪を中央や両端に積み上げていました。また「踏雪取締まりと撤出方規則」が制定され、除雪が義務化されました。



昔の人々、がんばってたのね

ケーススタディ 札幌の雪対策の軌跡をたどってみよう!

札幌冬季オリンピックが開催された昭和47年と比べて、札幌市内の自転車台数は約4倍、道路の距離は約2倍に増えました。同時に、ひと冬に除雪する道路の距離は約5倍、排雪する道路の距離は約3倍に増えているのです。



札幌冬季オリンピック開催をきっかけに、地下鉄、高速道路、幹線道路などの整備が進みました。都市基盤が整うとともに、冬の快適な暮らしに対する要望も一層高まり、除雪は市民の冬の暮らしを支える重点課題としてクローズアップされていったのです。

札幌冬季オリンピックのあたりから、除雪がとっもよくなったの。

いつから、今みたいなの除雪になったの？

今の除雪の基盤は、オリンピックがきっかけ？ 札幌の除雪改革

1967年 (昭和42年) 除雪体制が強化される。
昭和41年に冬季オリンピック開催地が札幌に決まり、翌年から検討委員会が発足して徹底的に除雪作業が見直されました。除雪車を400台用意したり、除雪ステーションを各区に設けたりすることで、きめ細かい除雪体制が整い、オリンピックを成功に導きました。



昭和40年代の除雪の様子

1978年 (昭和53年) 生活道路の除雪が開始される。



昭和50年代の生活道路の除雪の様子

道路の除雪は除雪車がやるのが当たり前と想ってた



*写真は札幌市写真ライブラリー所蔵

雪対策には課題がたくさん。まずは、みんなに知って欲しいのです。

これまでも、市は、限られた予算や人材、機械のなかで除排雪を行ってきましたが、都市化の進展や長引く不況、少子高齢社会の進行といった社会環境の変化によって、雪対策を取り巻く新たな課題が生まれてきています。このままでは、除雪体制を継続することさえ困難になるか

もしれません。だからこそ、今、みなさんに、雪対策の内容や問題点を知ってもらうことが必要なのです。さらに、どんな方法がよいのか、お互いに知恵を出し合い、協力しながら雪対策を進めていくことが大切だと考えています。



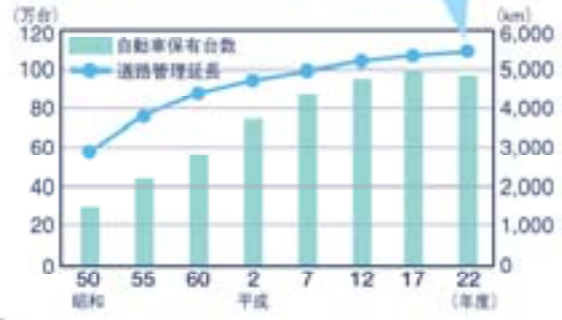
**こうした課題に
対応していくために「雪に負けない
サッポロづくり本部」を3年間開設しました。**

平成18〜20年度の3年間を集中取り組み期間と定め、副市長をはじめ、関係する8局の局長と10区の区長などをメンバーに、実行可

能な対策についてはさっそく取り入れながら、市役所一丸となつて幅広く課題に対する検討を進めました。

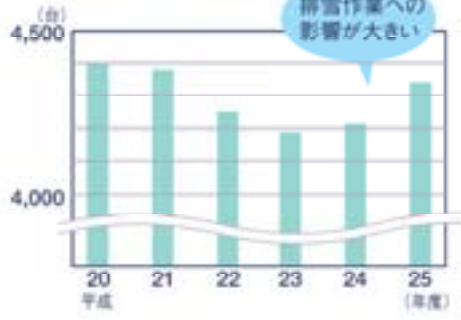
ケーススタディ **札幌の雪対策を取り巻く状況**

道路管理延長の延伸、
自動車台数も増加!
道路管理延長と
自動車保有台数の推移



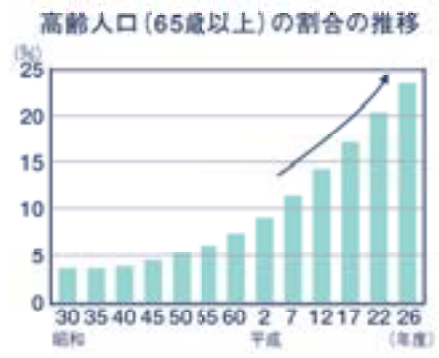
除排雪する道路も
車の利用も年々増え、
除雪作業の負担が増大

減少していた札幌近郊のダンプ台数は
若干増加傾向!
札幌運輸支局に登録された営業用
ダンプ台数の推移

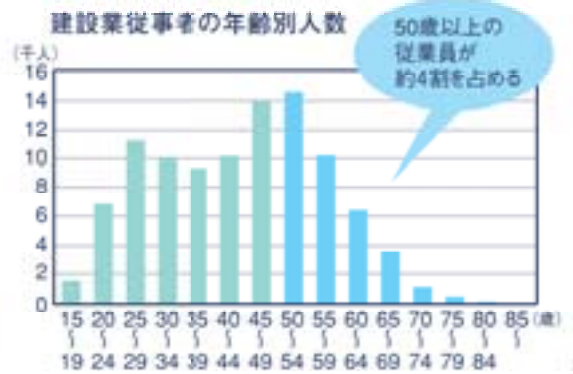


排雪作業への
影響が大きい

玄関前の雪かきも負担と感じる
高齢者の割合が増加!



除雪従事者の後継者不足、
除雪技術の継承が困難に!



まずはじめに
1



地域の冬の道路の様子について町内会のみなさんが意見や課題などを出します。

できればさらに
2

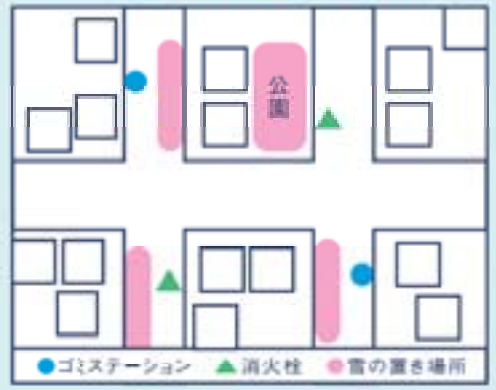


地域が暮らしやすくなる取り組みを一緒に考えます。

よいアイデアを出したら
3

できそうなことは力を合わせてやってみましょう。

取り組み例 **冬みちマップづくり**



地域の地図に、ゴミステーションや消火栓の位置、除雪した雪の置き場所などを記入した「冬みちマップ」を作製しています。「冬みちマップ」によって、町内会の方々や除雪事業者が共通認識のもと、雪対策に取り組むことができます。

冬みちパトロール



町内会のみなさんと、除雪や通行の妨げとなる迷惑駐車をなくすよう啓発活動をしたり、地域内の道路の状況などをパトロールしたりしています。

空地や公共用地などの有効活用



空地や公共用地など地域にあるスペースを雪置き場として活用します。雪置き場として公園などを利用した場合は、春に町内会のみなさんと清掃しています。

私たちのほうから、提案してもいいのよね。

雪対策って、私たちの地域でも何かできないの？

雪対策って何か？



市では、平成17年度から、町内会を対象に雪対策に関する懇談会を開催しています。懇談会では、地域住民・除雪事業者・市が雪対策についての課題を共有しながら、地域の現状に合った雪対策の検討を行っています。

ます。限られた予算のなかで、より快適な冬を過ごすために、みなさんと力を合わせて取り組んでいきます。

 ボランティアの人が雪かき
してくれてるって聞いたけど。


お年寄りや体の不自由な方のため
に、福祉除雪の制度があります。
一戸建ての住宅に住み、自力で除
雪することが難しいと認められる
ご家庭については、地域のみなさん
や企業から募った地域協力員に間
口部分の雪かきなどをお手伝い
いただいています。

 地域協力員が、
まだまだ足りません。

福祉除雪の利用者数は、年々増え続
けていて、平成25年度では約4,900
世帯の利用があったのに対し、地域協
力員の数は約2,900人でした。
この制度を続けていくためには、

雪かきができない人は、
どうしたらいいのかしらう？

もっと多くの方に地域協力員とし
て参加していただくことが必要です。

 福祉除雪もいいけど、
もっと地域で助け合わなきゃ。

昔も、雪かきができない人は、きつと
いたはずですが、家族や近所同士が
助け合うことで、そうした問題も解
決されていったのでしよう。そもそも
雪の問題は、地域全体の問題。制度
の充実も大切で
すが、地域で協力
し合う意識をもつ
ことこそが、これ
からの雪対策に最
も必要なことだ
と思っています。



地域で助け合う雪対策って、
どんなことをすればいいのかな？

 身近なところから、
見直してみてください。


まずは、家の周りの雪かきですね。
学校や会社、買い物に行く途中はど
うでしょう。バスに乗り込むときに、
雪山に足を取られた「子どもたちが、
つるつるになった横断歩道をこわこわ
渡っていた」「近所の消火栓に雪が積
もっていた」ひとつも気になること
があったら、勇気を出して行動して
みてください。困っているときに助
けてくれる人がいたら、誰だってうれ
しいし、誰かのために自分が役に立
ると実感できるのもうれしいもの。
雪対策を通して感謝や思いやりの輪
が広がっていくといいですね。

活用してください！
雪かき指数



市では、翌朝の雪かきが必要
かどうかをホームページでお知
らせています。市内を18のエリアに分け、区域ごとにキャラ
クターのスコップ君が「早起
しががんばりましょう」「降雪は
少ないでしょう」などの4段階
で雪かき指数を示しています。

www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/

ケース
スタディ  地域のために取り組んでいる
みなさんをご紹介します

みなさんの地域でも、できることから取り組んでみませんか。

- 学校周辺の高齢者宅の
雪かきをしている大学生のボランティア。
- 父母と地域の方々、先生たちが協力して、
通学路に砂をまき、春には清掃もして
いる西区の小学校。
- 「次にそこを通る人が転ばないように」
と凍りついた横断歩道に砂をまいて
くれたりの方々。
- 除雪作業の助けになる違法駐車
をなくそうと取り組んでいる町内会。



高齢者宅の雪かきを行う
北海道科学大学の学生のみなさん



助け合う雪対策
福祉除雪事業

ご利用いただけるご家庭

- 70歳以上の方だけで構成されている世帯
- 重度(1,2級)の身体障がいのある方だけで構成されている世帯
- 70歳以上の方と重度の身体障がいのある方だけで構成されている世帯
- 区社会福祉協議会が特に認めた世帯

ご利用の際の負担金 ひと冬あたり5,000円または10,000円
課税状況に応じた負担金がかかります。生活保護世帯は無料。

**地域協力員
への参加を!**

【仕事内容】道路除雪が行われた日の午前中に、
担当世帯の門口と玄関先までの通路を雪かきする。
【担当世帯】お近くの対象世帯
【活動費】ひと冬1世帯につき21,000円



**冬を安全・快適に
過ごすために、
守っていただきたい
ルールがあります。**

豊かな冬の暮らしを実現するには、みんながルールを守ることが大切です。さて、イラストの中には、ルール違反が4つあります。どこなのか、なぜなのか、みんなと一緒に考えてみましょう。

**冬道を快適に使うために、
普段気をつけることは？**



みんなで考えよう！
間違えさがし

答え

- ①: 道路に向かって飛び出すコキオくん
道路への飛び出しは危険。
道路の両側に積まれた雪山で遊ぶ子どもたちもいますが、道路へ飛び出すのは大変危険です。絶対にやめましょう。
- ②: 道路に停めてある車
路上駐車はやめよう!
作業のじゃまになったり、車に傷をつけてしまったりする危険があるため、除雪できないことがあります。
- ③: 道路に向かって雪を出しているママ
道路へは雪を出さないで!
道幅が狭くなったり、凸凹になったりして、交通事故や渋滞の原因になります。せっかく除雪しても、これでは意味がありません。
- ④: ゴミの日でもないのに捨ててるママ
ゴミは決められた日の除雪後に!
除雪が終わる前にゴミを出すと、ゴミの混じった雪が排雪されて河川などを汚す原因になります。

**雪国らしい暮らし方を、もう少し
考えてみたらどうだろうね？**



雪国ならではの、雪で
うまごつするのがあるんだよ

**冬はマイカー通勤を
控えるのも一つの手だね。**

除雪されていても、冬道では、ドライパーはスピードを落として運転するので、雪のない季節と同じ交通量だったら、道路は渋滞してしまいます。冬の道路環境の改善には、除排雪を充実させることも大切です。なるべくマイカーの利用を控え、交通量を減らすことが必要です。みんなが交通量を減らせば、バスも走りやすくなり、通勤・通学時間の短縮にもつながります。



滑りやすい冬の道路は、渋滞しがち

**雪が積もっていても
しっかり歩けるように
冬靴は長めがいいよね。**

「除雪を充実させて欲しい」。そう思う理由のひとつは、足元のせいではありませんか。そういえば、冬に長靴をはいている人、あまり見かけなくなりましたね。ファッションも大切ですが、冬ならではの装いを工夫してみましょ。長めであったか、靴なら、雪が多少積もっても、それほど気にならなはずです。帽子や手袋もしっかり着用したいですね。

きなりアはの
ファッション
冬の外出時の服装



みんなで力を合わせれば、豊かに冬を過ごせるね



住みやすいまちにするには、私たちも行動しないとね



雪国なんだから、雪のある暮らしを楽しまなきゃ！



玄関の雪がきは、雪国に住む自分たちの仕事さ！

おわりに

この絵本を読んで、何を感じましたか。札幌市の雪対策について、少しでも理解を深めていただけたらうれしく思います。雪対策のことが理解できたら、今度は身近なところから参加してみてもいいですか。

通勤通学時間までに除雪します



車はじゃまにならないところに停めないとな

冬道はみんなで守ろうよ



もうこうなると

市の除雪が十分に発達していなかった昔、除雪は、家族や地域で力を合わせて行っていました。作業は大変だったかもしれませんが、雪のおかげで家族の絆が深まり、地域のコミュニケーションも盛んだったといえます。そんなことに気づかせてくれる雪は、天からのかけがえのない贈り物。私たちも昔の人を見習って、自分の持てる知恵や力を出し合い、家族や地域で協力し合いながら、豊かな冬を過ごしていこうではありませんか。



この本で紹介した施策 に関するお問い合わせ

お問い合わせ内容	部署名	電話(011)		
●地域の除雪作業	各除雪センター	*		
●福祉除雪	各区社会福祉協議会 または 各区保健福祉課	中央区社会福祉協議会 中央区保健福祉課	281-6113 205-3301	
		北区社会福祉協議会 北区保健福祉課	757-2482 757-2470	
		東区社会福祉協議会 東区保健福祉課	741-6440 741-2459	
		白石区社会福祉協議会 白石区保健福祉課	861-3700 861-2443	
		厚別区社会福祉協議会 厚別区保健福祉課	895-2483 895-2471	
		豊平区社会福祉協議会 豊平区保健福祉課	815-2940 822-2451	
		清田区社会福祉協議会 清田区保健福祉課	889-2491 889-2034	
		南区社会福祉協議会 南区保健福祉課	582-2415 582-4736	
		西区社会福祉協議会 西区保健福祉課	641-6996 641-6942	
		手稲区社会福祉協議会 手稲区保健福祉課	681-2644 681-2478	
		市雪対策室のホームページ www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/		

お問い合わせ内容	部署名	電話(011)		
●雪対策の計画に関すること	雪対策室	計画課 211-2682		
●広報(雪の絵本,その他)に関すること		事務課 211-2662		
●除排雪事業全般について	各区土木部 維持管理課 (土木センター)	中央区維持管理課 北区維持管理課 東区維持管理課 白石区維持管理課 厚別区維持管理課 豊平区維持管理課 清田区維持管理課 南区維持管理課 西区維持管理課 手稲区維持管理課	614-5800 771-4211 781-3521 864-8125 897-3800 851-1681 888-2800 581-3811 667-3201 681-4011	
●除雪作業の発注・監督		各区土木部 維持管理課 (管理担当)	中央区維持管理課 (管理担当)	614-1800
●雪堆積場			北区維持管理課	771-4211
●流雪溝			東区維持管理課	781-3521
●路上駐車・車の放置			白石区維持管理課	864-8125
●除雪パートナーシップ制度			厚別区維持管理課	897-3800
●市民助成トラック制度			豊平区維持管理課	851-1681
			清田区維持管理課	888-2800
			南区維持管理課	581-3811
			西区維持管理課	667-3201
			手稲区維持管理課	681-4011

*「広報さっぽろ12月号」にとじ込まれている「冬のくらしガイド」
または市雪対策室のホームページをご覧いただくか、
市コールセンター(TEL011-222-4894)までお問い合わせください。

